

未来を担う子どもたちを地域で育てる

小平地域教育サポート・ネット事業  
(学校支援ボランティアの推進)

# 実践事例集

平成30年度版



小平市教育委員会

# もくじ

はじめに

「発行によせて」

## ♪小学校♪

### 事例1 小平第一小学校

～ 特別支援学級「若竹学級」の子どもたちと保護者を支援。「若竹ボランティア」の活動 ～

### 事例2 小平第二小学校

～ 花と緑がいっぱい！みんなで育つ第二小 ～

### 事例3 小平第三小学校

～ 6年生・キャリア教育「未来へジャンプ」～

### 事例4 小平第四小学校

～ 学習支援者の協力により、全学年で地域参画型授業が実践されています ～

### 事例5 小平第五小学校

～ 温かな心に触れる「むかしあそびをしよう」 ～

### 事例6 小平第六小学校

～ いつも、地域の方々に見守られています ～

### 事例7 小平第七小学校

～ 地域とともにある学校を目指して ～

### 事例8 小平第八小学校

～ 落ち着いた八小は、たくさんのボランティアに支えられている ～

### 事例9 小平第九小学校

～ 九小発地域を花でいっぱいにして ～

### 事例10 小平第十小学校

～ よりよい読書環境をめざして ～

### 事例11 小平第十一小学校

～ 人と人とのつながりを大切にするボランティア活動 ～

### 事例12 小平第十二小学校

～ 小平第十二小学校は、みんなの力でいつもきれいな学校です！ ～

### 事例13 小平第十三小学校

～ 「7つのボランティアグループ」でよりよい学校環境づくり ～

### 事例14 小平第十四小学校

～ 理科や生活科の授業をサポートして子どもたちと一緒に花いっぱいの学校に！ ～



### 事例15 小平第十五小学校

～ 十五小では図書ボランティアが日本十進分類法の授業をおこなっています ～

### 事例16 花小金井小学校

～ ボランティアさんに支えられたアットホームな学校です ～

### 事例17 鈴木小学校

～ 鈴木小学校の図書ボランティアは「図書室応援隊！」 ～

### 事例18 学園東小学校

～ 学園東小学校はコミュニティ・スクールとして、地域とともにある学校づくりを進めています ～

### 事例19 上宿小学校

～ 上宿小学校は、各種ボランティアのおかげでいつも笑顔があふれています ～

## ♪中学校♪

### 事例20 小平第一中学校

～ 外部講師の活用による「人権教育」の推進 ～

### 事例21 小平第二中学校

～ 福祉について考え、社会のために主体的に行動することの大切さを学ぶ 福祉体験プログラム ～

### 事例22 小平第三中学校

～ 学校支援でより健やかな三中を！ ～

### 事例23 小平第四中学校

～ 健やかな成長を願いながら…「園芸ボランティア」 ～

### 事例24 小平第五中学校

～ ボランティア登録制を行っています ～

### 事例25 小平第六中学校

～ 学習支援 ～

### 事例26 上水中学校

～ 上水中は緑豊かで花いっぱいです ～

### 事例27 花小金井南中学校

～ 自習学習のお手伝い 地域の支援員さんに支えられて ～



## はじめに 「発行によせて」

この事業は、平成14年度に東京都の3年間の補助事業「地域教育サポート・ネット事業」モデル地区の指定を受け、二中地区4校（二中、六小、十三小、十五小）で実施したことがはじまりです。

以前から小平市では、民生委員・児童委員、小学校区単位で活動している青少年対策地区委員会、PTA・保護者の方々などが、学校との連携に積極的にかかわってきました。こうした小平市を支える地域の皆さまにとって、小平地域教育サポート・ネットは格好の事業となりました。

平成17年度からは市の単独事業として4校以外の学校への拡大を図り、平成23年度には国の補助事業「学校支援地域本部事業」を取り込んで、小学校19校、中学校8校の全27校での実施に至りました。

なお、平成29年度からは国が補助事業名を「地域学校協働活動推進事業」と変更していますが、小平市では、すでに全市的な取組みとして「小平地域教育サポート・ネット事業」を展開していることから、事業名は継続して利用しています。

学校支援における小平市の特徴は、学校支援コーディネーターの人選を校長が行うことにあります。そして、各学校の取組みは多様なものとなっています。

ボランティア養成講座は、学校のニーズに合わせて開催し、講座の会場を学校とすることで、学校と地域の垣根を低くしてボランティアを養成しています。講座参加者は1年間に延べ約2,500人、実際に活動する学校支援ボランティアの皆さんは、学生ボランティア、社会人ボランティアを合わせて延べ約30,000人にのびります。学校支援ボランティアの方々は、学習支援、部活動指導、環境整備、登下校安全指導、学校行事などに携わり、中には、長年にわたり活動を続けていらっしゃる方もおり、学校運営に欠くことのできない存在となっています。

小平市教育振興基本計画の中では、学校支援コーディネーター、学校支援ボランティアのさらなるスキルアップを目指しています。この実践事例集が、学校支援の質の向上や学校区ごとの活動を充実させる一助となれば幸いです。

## 小平第一小学校の取り組み

～特別支援学級「若竹学級」の子どもたちと保護者を支援。「若竹ボランティア」の活動～

### コーディネーター世話人：宮本真紀

コーディネーターの人数(世話人含む):3人 ボランティアの人数:約30人

#### ★わが校・地域の概要(様子)

小平第一小学校は、小平で最初に開校した小学校で、平成30年度に創立145年を迎えました。そのため、何世代にもわたって一小到う家庭も多くあります。

青少対、おやじの会など地域の活動も活発で、子どもたちのために、様々な行事を開催していただいています。

#### ★わが校の支援の取り組み

一小では、現在、環境支援ボランティアとして「花と緑のボランティア」と「図書館ボランティア」の二つの活動を行っています。この支援は、地域・保護者の方々に参加していただいています。

またPTAのボランティアは、「若竹ボランティア」「児童図書サークル」の二つがあり、保護者を中心に活動しています。どのボランティアも、子どもたちの笑顔が見たいという思いで続いている活動です。

今回取り上げる「若竹ボランティア」は、PTA活動として在校生の保護者が中心となって実施してきましたが、近年ボランティアの減少により運営が難しくなってきました。そこで、学校支援コーディネーターが、広く地域の方々にも参加を募り、運営をサポートすることとしました。

#### ★わが校の特徴的な取り組み ～「若竹ボランティア」～

平成8年、一小平PTAに発足。平成31年で24年目を迎える、伝統あるPTA活動。若竹学級の保護者が、保護者会に安心して出席できるように、お手伝いしたいという思いで活動を始める。

活動内容は、若竹学級の保護者会時に子どもたちが楽しく過ごせるように、校内で預かっている。この活動は、平成24年に全国特別支援教育推進連盟の依頼で事例発表した。

平成30年度より、若竹学級の子どもたちと保護者を同時に支援できる活動を今後も継続していきたいとの思いから取り組みを開始した。

##### ①目的

- 希望するすべての子どもたちが参加できるようなボランティアの人数確保。
- 保護者が安心して、子どもを預けられるようなボランティアの育成。

##### ②取り組みを開始した経緯

- 在校生の保護者ボランティアの減少で運営が難しくなってきたため。

##### ③活動内容

- 「若竹ボランティア」代表のサポート。
  - ・保護者・地域の方々へボランティアのお願い。
  - ・教育委員会が開催する「特別な支援を必要とする子どもたちへ」などの講演会を利用してボランティアのスキルアップを図る。
  - ・若竹学級の保護者とボランティアの交流会などに参加し、保護者・ボランティアそれぞれの意見を聞く。



##### ④気を付けていること・苦労していること

- 子どもたち個々の留意すべき点などについて、保護者との連携を密にする。

##### ⑤この取り組みの成果

- ボランティア経験者、地域の経験豊富な方々が参加していただくことにより、保護者の安心をより得られるようになった。
- 現役保護者ボランティアが、新たに参加した地域の方々から学ぶことが多く、安心してボランティア活動ができるようになった。

##### ⑥今後の課題

活動内容のさらなる理解、浸透を図るため、PTA活動等の機会を捉えて積極的なPRをするとともに、地域の方々にも広く呼び掛け、新たなボランティア参加者を増やしたいと考えている。



## 小平第二小学校の取り組み ～花と緑がいっぱい！みんなで育つ第二小～

コーディネーター世話人：保坂明子

コーディネーターの人数(世話人含む)：1人 ボランティアの人数：約45人

### ★わが校・地域の概要(様子)

ぶんよがくしゃ

本校は明治6年文畚学舎から数えて平成30年度に145年を迎えました。校庭には草木が多く緑豊かな環境に囲まれています。児童数は特別支援学級も含めて約540名の元気で明るい児童が在籍しています。地域・保護者は学校の教育活動に対してとても協力的で、学習支援ボランティアをはじめ、放課後子ども教室・青少対の活動等、様々な支援をいただいで充実した教育活動を進めています。

### ★わが校の支援の取り組み

年度初めに、学校支援ボランティアの活動内容をお知らせし、ボランティアの募集を呼びかけます。その後全体会を開催し、各ボランティアの名簿を作成します。

平成30年度は、図書ボランティア(図書室の環境整備)、若草ボランティア(児童の見守り)、花と緑のボランティア(花壇ピオトープの整備)、学習支援(校外学習の支援・クラブ活動の支援・学習の支援)が活動しました。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～花と緑～

#### ①目的

学校に花と緑を増やし、ピオトープを有効活用できるようにする。

#### ②取り組みを開始した経緯

学校に比較的緑は多かったが花が少なかったため、少しずつ花壇を増やし、花を増やした。

#### ③活動内容

地域・保護者の方にお手伝いいただき、花壇を整備し、東京都緑化基金を利用し花を植えた。また、ピオトープも整備し、遊歩道を作り季節が感じられる草木を植えている。

植木の専門家である講師の指導のもと、「花と緑のボランティアスキルアップ講座」を実施し、花等を手入れする方法を学んでいる。



#### ④気をつけていること・苦労していること

活動日の調整がつかないときには、都合のよい時間をお願いするなど、臨機応変に対応し、強制はしないようにしている。

#### ⑤この取り組みの成果

花壇の花の名前を覚えたり、花の絵を描いたりするなど、生活科などの授業にも活用されている。ピオトープに遊歩道が出来、散策しやすくなっている。

#### ⑥今後の課題

ボランティアに登録していても活動日が合わずに、活動しないままに一年が終わることもある。登録している方には必ず活動する機会が設定できるように呼びかけていきたい。

## 小平第三小学校の取り組み

～6年生・キャリア教育「未来へジャンプ」～

コーディネーター世話人：五十嵐直子・都島真理

コーディネーターの人数(世話人含む)：2人 ボランティアの人数：約120人

### ★わが校・地域の概要（様子）

小平第三小学校は、五日市街道に面し、豊かな自然と閑静な住宅に囲まれています。児童数は約660名と多いのですが、保護者や地域のボランティアの方々の協力のもとで子どもたちは健やかな生活を送っています。また、コミュニティ・スクールは平成30年度に第4期目を迎え、2年後の創立140周年に向け、子ども一人一人が輝く「楽しい学校」を目標に日々努力を続けています。

### ★わが校の支援の取り組み

本校は三小ちゃん（みこちゃん）ネットワークとして、以下のサポーターの方たちに、それぞれの立場から活躍していただいています。

三小ちゃん（みこちゃん）みまもりたい、さんさんパトロール、三小地区青少対、民生委員・児童委員、放課後子ども教室、授業支援ボランティア、子ども支援ボランティア、さんさんひろば、図書ボランティア、花いっぱいボランティア、三小ソーラン踊ろう会、おとうさんの会

また、平成30年度のサポート・ネット事業講座（ボランティア養成講座）は、「図書の修理講座」、「図書の読み聞かせ講座」、「何でも聞いて姿勢の話パート3」、「防災講演会」の4講座を実施しました。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～6年生・未来へジャンプ～

#### ①目的

6年生のキャリア教育の一環として各分野で活躍されているゲストティーチャーにそれぞれの職業について、経験してきたこと、大切にしていること等いろいろな方々の生き方を学ぶことを目的としています。

#### ②取り組みを開始した経緯

創立130周年の記念事業の一環として6年生のキャリア教育に三小の卒業生をゲストティーチャーに迎えたことがきっかけとなり、現在は卒業生にこだわらず様々な方面で活躍されている方々をお迎えしています。

#### ③活動内容

平成30年度は1stステップとしてNECネッツエスアイ(株)『南極クラブ』の方からお話を伺い、2ndステップとして百貨店、報道（校閲）、理学療法士、食育インストラクターの4名の方をお迎えし、希望のコースにわかれて体験したり、お話を伺いました。子どもたちはワークシートにまとめ、感想を含めた文書を提出します。子どもたちがまとめた文書は後日、ゲストティーチャーの方々へお送りしています。

#### ④気をつけていること・苦労していること

##### ●気をつけていること

ゲストティーチャーの方は子どもたちの前で話すのが得意でない方もいるので、先生方主導で学習のねらいに沿ったお話しをしていただけるよう打合せの時にお願いすること。

##### ●苦労していること

学習のねらいに沿ったゲストティーチャー探し。ボランティアで来ていただくので、ご負担にならないようお願いすること。

#### ⑤この取り組みの成果

毎回ゲストティーチャーの方々は子どもたちの人生の先輩として仕事に対するこだわりや取り組み方、生き方まで含めた熱い思いを語られ、世代を超えた心温まる交流が生まれています。

#### ⑥今後の課題

限られた時間の中で実施が難しい取り組みですが、人生の先輩と出会うことが学びになるので、いろいろな方に声をかけていきたいです。



【食育インストラクターによる授業風景】

## 小平第四小学校の取り組み

～学習支援者の協力により、全学年で地域参画型授業が実践されています～

コーディネーター世話人：岸 國男・濱村美紀子

コーディネーターの人数(世話人を含む)：2人 ボランティアの人数：約200人

### ★わが校・地域の概要(様子)

小平第四小学校は、近くに玉川上水が流れる、とても緑豊かな地域に立地しています。保護者や地域の方々、更には近隣の津田塾大学、東京学芸大学の方も学校に大変協力的で、多彩で多様な支援を受けています。平成30年6月1日現在、児童数は453名、特別支援学級を含め17クラスです。

### ★わが校の支援の取り組み

玉川上水の歴史や自然に係る学習や体験活動、津田塾大学と連携した外国語活動、学校の要望を受け放課後子ども教室において開催した四小寺子屋、プログラミング教育など、地域の教育力を生かした多彩な授業支援を行っています。コーディネーター世話人が随時、教員、大学、地域支援者間で、学校経営の基本理念を念頭にして、授業支援についての協議や情報共有を行っています。

特徴的なのは、①毎回、授業の前後で教員と支援者が授業内容について話し合い、授業支援の質を高めていること。②全教員と学校経営協議会委員が効果的な授業支援や健全育成についての熟議を行い、共通理解を深めていることです。このような地域参画型事業を通して、地域と学校が連携した取組を実践しています。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～「玉川上水を核に全学年で地域参画型授業を実践」～

#### ①目的

学区域の中を流れている玉川上水を学校全体の学習材として位置付け、歴史的、環境的に価値ある玉川上水のすばらしさに気づき、理解を深めます。さらに学んだことを基に地域の人にそのよさを発信していくことを目指します。

#### ②取り組みを開始した経緯

「こんな近くに玉川上水があるのに、年に1回しか授業でやらないのは、もったいない。年間を通して子どもたちに勉強させたい！」と学校側の呼びかけにより、平成18年度に地域の方々の協力を得て「玉川上水ウォッチング」が始まりました。

#### ③活動内容

1年生から6年生まで学年の発達段階に応じて、生活科や総合的な学習の時間等を使って学習を行っています。全学年合わせて年間約70時間以上行っています。

1年生「玉川上水散歩・春に親しむ」「虫と仲良くなろう」「ドングリ工作」他

2年生「玉川上水・新堀用水で遊ぼう」「秋探し」「橋の名の由来を調べよう」他

3年生「ヤゴ救出大作戦」「この町大好き大作戦-玉川上水の自然紹介」他

4年生「玉川上水ウォッチング春夏秋冬」「小平うどん作り」他

5年生「玉川上水フォト俳句」

6年生「共に生きる町」「キャリア教育：地域の方々のお仕事紹介」

ならのみ学級「四季の玉川上水発見」「地域の方々との交流会」「小平うどん作り」他



【学習支援打合定例会】

#### ④気をつけていること・苦労していること

学校や教員の教育方針や授業方針に沿った支援をすることを心がけています。また、全教員との熟議を通して、学校側の学習支援ニーズを確認しています。

授業前に「打ち合せメモ」を使って、授業のねらいや流れ、支援内容、留意点などをあらかじめ教員と打ち合せ、授業支援で何が期待されているのか、子どもとどのように関わったらよいのかを明解にしています。これにより授業での的確な支援を目指しています。授業終了後は、授業の感想や気づきを共有することで、教員と支援者の共通理解に努め、授業支援で用いた資料を整理し改善活動の基盤を作れるように工夫しています。

#### ⑤この取組の成果

地域の方からは「地域のすばらしさを子どもたちに伝えることができうれしい。また、子どもたちのいきいきとした活動を間近で見られることが楽しい。」という感想を多くいただきました。教員からも「教員だけではできない体験を中心とした授業が展開され、活動や学習内容をより深めることができた。また、教員の願いや思いをスタッフの方に助けられ、実現できた。」と喜びの声が届いています。

「打ち合せメモ」や「その他資料」を使うことにより、事前にやるべきことが分かり、授業のねらいにあった支援ができ、次の授業にも生かせるようになりました。また、教員と支援者のコミュニケーションがさらに向上しました。

#### ⑥今後の課題

保護者と地域の方の連携を更に強めることと、子どもの卒業後も継続して学習支援に参加していただけるように、支援の輪をどんどん大きくしていくことの実現が課題です。また、授業終了後、教員と授業について感想や気づきについて話し合う時間の確保が難しいことです。



## 小平第五小学校の取り組み

～温かな心に触れる「むかしあそびをしよう」～

コーディネーター世話人 北村明美・山田 円

コーディネーターの人数(世話人含む):2人 ボランティアの人数:約85人

### ★わが校・地域の概要(様子)

小平第五小学校は西武新宿線花小金井駅・小金井街道に近く、商店街や住宅街に囲まれています。また、東部公園に隣接しており緑に恵まれた環境にあります。

児童数は655名で、近辺にマンションや分譲住宅が多く建っている関係で今後も増加傾向にあります。学校に協力的な保護者・地域の方が多く、いろいろな場面で支援して頂いています。

### ★わが校の支援の取り組み

環境支援の図書ボランティア・花と緑のボランティアは活動日を決めて、図書室の飾り付けや本の整理、花壇やプランターの整備をしています。また、学習支援では各学年の生活科・キャリア教育・総合的な学習の時間の支援を担当の先生方と連携し、その都度ボランティアを募っています。

ボランティアをしていると先生方や子どもたちから「ありがとうございます」と声を掛けられ、やりがいを感じます。

学期末毎に「学校支援ボランティアだより」を発行し、活動状況をお知らせするとともに、紙面を通してボランティアの方々に感謝の気持ちを伝えています。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～1年生 むかしあそびをしよう～

#### ①目的

地域の方に昔からある遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で昔からの遊びの良さや楽しさ、地域の方々の優しさに気づくことができる。また、保護者・地域の方の新たなボランティアの発掘をするため。

#### ②取り組みを開始した経緯

子どもたちと地域の方々とのつながりをもつことを考え、生活科の昔遊びの単元で地域の方々をゲストティーチャーとしてお招きし、教えていただいた。様々な世代が交流することで地域のつながりが強くなり、子どもたちの安全など別の分野にも発展している。

#### ③活動内容

毎年3学期に生活科の授業を2時限使って行っている。地域の方への声かけは民生委員さんをお願いして10名ほど集まって頂いた。保護者ボランティアは1年担任の先生から10名ほど募集している。地域ボランティアのまとめ役の民生委員さんと1年担任、学校支援コーディネーターとで事前に遊びの内容や場所等の打ち合わせをする。コマ回し・けん玉・あや取り・おはじき・お手玉・だるま落とし・坊主めくり・将棋駒の山崩しの分担は当日集まった方々に割り振る。保護者ボランティアと地域の方と組んで各教室に分かれて子どもたちが遊びに来るのを待つ。自分が選んだ遊びを30分間ずつ2種類体験できる。

#### ④気を付けていること・苦勞していること

コマ回しやだるま落としなどは夢中になると飛び過ぎて危険なので、場所や飛ばす方向などに配慮し、ボランティアの人数も多くした。子ども目線になり、けがのないように気を付けた。

#### ⑤取り組みの成果

平成29年度は学校公開日だったので、参観にいらした保護者の方の参加もあり、昔遊びを通して地域の方や保護者・児童と世代を越えた交流ができた。

自分で選んだ遊びを忘れていたり、場所がわからなくなったり、友達につられて違う遊びに入ったりなど迷子が数名いた。点呼しても顔と名前が一致しないので名札があるとよかったと地域の方からご意見を頂いたので、事前打ち合わせの際、先生方と相談し、平成30年度は遊びごとに色分けした名札シールを子どもたちが胸に貼ることで迷子が解消された。お手玉が不足していたので、平成28年度はお手玉作成の講習会を開催し100個ほど新しく作成することができた。キャラクター柄やかわいいお手玉に子どもたちも大変喜んだ。お手玉作成にご協力いただいた方々にも昔遊びのゲストティーチャーをお願いし、ご参加いただいた。

#### ⑥今後の課題

8種類の昔遊びを当日集まった方々に割り振る際に、ご本人の希望を伺うのだが、人数の都合等で必ずしも得意な遊びを担当するとは限らず、「教えられない」と困惑される方もいる。子どもたちと遊んでいたことが趣旨であることをご理解いただいている。事前に「昔遊び講習会」を開催することも今後考えていきたい。

## 小平第六小学校の取り組み

～ いつも、地域の方々に見守られています ～

コーディネーター世話人：肥沼宏子・佐々木順子

コーディネーターの人数(世話人含む):18人 ボランティアの人数:約150人

### ★わが校・地域の概要(様子)

コミュニティ・スクールに指定されており、学校と学校経営協議会が協議・協働して、経営にあたっている。PTA組織の他に、コーディネーター部会を中心としてボランティア組織がある。

ブリチストン東京工場に隣接し、府中街道沿いに位置しており、街道沿いにある商店や駅周辺の商店の協力を得て、体験学習に取り組んでいる。

### ★わが校の支援の取り組み

コーディネーター部会では、現在18人がメンバーとして、できるときに、できるだけを合い言葉に、ボランティアの確保、学習支援、夏休み児童向け冊子(いきいきわくわく夏休み)の作成、放課後子ども教室への取り組み等を行っている。地域の方が中心となっている「ふれあいマンデー」「ふれあい安全パトロール」や、保護者が中心となっている「図書ボランティア」の活動を核としながら、ボランティアの組織が確立しており、さらに「学習支援ボランティア」「クラブ活動支援ボランティア」「花と緑のボランティア」等のボランティア活動がある。「ゲストティーチャー」も多く、地域や保護者の方々が、学校に足を運んでくださり、活気のある学校になっている。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～ プレ1年生 ～

#### ①目的

新1年生として、小平市内の小学校に入学してくる子どもたちへの体験学習ならびに、保護者に対して学校へ入学させるにあたっての心構えについて話をしたり、質疑応答を受けることで入学後の生活に対する不安を取り除き、スムーズな小学校生活が送れるための手助けをする。

#### ②取り組みを開始した経緯

学校側の説明会だけでは、説明しきれない内容や、入学してからの生活の様子などの把握しきれない点について、地域や保護者の先輩としての立場から、新1年生の保護者の不安を取り除くことができるような場として、学校側の希望もあり、取り組みが開始された。

#### ③活動内容

##### ●事前活動

- ・学校との打合せ(現1年生の先生方と)・近隣の幼稚園、保育園へのアンケート実施
- ・申込書の配布と市報への掲載・参加者、保護者の名簿作り・新1年生向け体験学習の準備、クラス分け
- ・保護者向け紙芝居(気をつけてお母さん)の準備

##### ●当日

- ・子ども→受付後、1年生の各教室で体験学習  
(呼名、小学生の1日の動画視聴、鉛筆を持って書く練習、読み聞かせ、和式トイレ体験等)
- ・保護者→受付後、子どもを各教室に連れて行く。その後、別室でアンケートの結果をもとに学校生活に必要な生活の習慣づけや、準備等についての話。学校生活で気をつけると良いことなどを紙芝居形式で伝達。学校内で現在行われているボランティア活動の紹介。
- ・終了後、希望者のみ校内見学(保護者と子ども)。

#### ④気をつけていること・苦労していること

- ・各教室での子どもたちの動きがスムーズに流れるように、補助を3～4人ずつ配置している。200名近い参加者に対し、当日は30人ほどで運営を行っている。
- ・教室の確保と時間帯の工夫(学校のほかの授業に支障の無いように)
- ・例年、平日の午後に開催しているため、ボランティアスタッフの人数確保に苦労している。

#### ⑤この取り組みの成果

- ・学校側で言いにくい、保護者の対応等について、先輩の保護者の立場で気軽に話をすることができる。
- ・ボランティアをすることの良さや、無理なく、できるときに、できるだけという姿勢を話す良い機会となっているため、入学後、積極的に足を運んでくれる保護者が増えている。
- ・近隣の幼稚園・保育園との繋がりが深くなってきている。

#### ⑥今後の課題

- ・急な変更点(天災や悪天候の場合など)に対応できるような、情報の把握(確実な連絡先)。
- ・プレ1年生に対する問い合わせや参加希望者も多いので、活動の場を広げる。
- ・これからも幼稚園、保育園のご協力をいただきながら、さらに交流が持てるような関係を築いていく。

## 小平第七小学校の取り組み

～地域とともにある学校を目指して～

コーディネーター世話人：岩川妙子・松本菜水江

コーディネーターの人数(世話人含む):11人 ボランティアの人数:約140人

### ★わが学校・地域の概要(様子)

平成26年度にコミュニティ・スクールの指定を受けた小平第七小学校は、小平第六中学校と小中連携を図りながら、地域の力を学校教育に生かしています。毎日更新されるホームページでは学校生活の様子が大変よく分かります。たくさんの保護者・地域のボランティアの方々が日々学校を訪れており、子どもたちと挨拶を交わすことによって学校及び七小地域全体の安心と安全につながっています。

### ★わが校の支援の取り組み

安全・図書・環境支援・飼育・学習支援や体験型授業の支援、そして地域交流の一環として、小平グリーンロード灯りまつりの運営支援を行っています。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～地域の力で子どもたちに豊かな教育を～

#### ①目的

より豊かな教育活動を行うため、地域参画型授業を進めています。校外学習では多くの大人が目子どもたちの安全を見守り、体験型授業では一人一人にまで指導を行き渡らせます。学年単位の学力向上に向けた取り組みでは、たくさんのボランティアの方々が入ることで多くの子どもたちにチャレンジする機会を与え、学習意欲の向上につなげていきます。

#### ②取り組みを開始した経緯

コミュニティ・スクールとなったのをきっかけに、地域参画型授業の拡充を目指してきました。学年ごとに2名ずつの担当コーディネーターを配置し、学年の教員と密に連携を図るとともに、コーディネーター間で情報共有することでより広い支援要請ができる体制になっています。

#### ③活動内容

教員と事前に打ち合わせをし、地域参画型授業の支援を行っています。

- 1年生 大根種まきと収穫・昔遊び・計算チャレンジ など
- 2年生 町探検・九九チャレンジ など
- 3年生 グリーンロード探検・リコーダー支援・七輪体験 など
- 4年生 糰うどん作り、ガイドヘルプ体験 など
- 5年生 高齢者疑似体験・ミシン授業 など
- 6年生 車椅子体験・組体操補助 など



#### ④気をつけていること・苦労していること

次回以降の支援につながるよう「ご都合のよい時に無理のない範囲で」をモットーに、ボランティアの皆様楽しく活動していただける雰囲気作りを心がけています。支援の日時が重なったり、連日の支援が必要になる時期もあるため毎回同じメンバーになることもあります。なるべく学校からの支援要請を早めにお知らせするなどして、仕事をしている保護者でも都合をつけてボランティアに参加しやすいようにしています。

#### ⑤この取り組みの成果

多くのボランティアが支援に入ることによって、より安全で充実した授業が行われています。自分の子どもだけでなく他の学年を支援して下さる方や、子どもたちの祖父母世代の地域ボランティアの方々にも多数参加いただいています。世代を超えたボランティア間の交流も深まっている中で、さらに「地域で学校を支援していこう」という意識が浸透し、七小を中心とした地域の輪がますます広がっています。

子どもたちも保護者以外の多世代の大人と接することにより、挨拶や会話を積極的にしてくれるようになってきて、コミュニケーション力の向上にもつながっています。

#### ⑥今後の課題

新たな地域人材の発掘と、継続的に支援して下さる保護者ボランティアの増員が課題です。また、コーディネーターを引き継いでくれる人材探しと声掛けが難しいために交代できないという現状もあります。



## 小平第八小学校の取り組み

～落ち着いた八小は、たくさんのボランティアに支えられている～

コーディネーター世話人：山崎万利子・山口圭子

コーディネーターの人数(世話人含む)：8人 ボランティアの人数：約90人

### ★わが校・地域の概要(様子)

本校は、近隣にこげらの森や小金井カントリー倶楽部、八小遺跡などがあり、緑豊かで、とても住みやすい地域です。学校に協力的な保護者、地域の方に見守られながら、明るく元気な児童が、日々勉学に遊びに一生懸命に取り組んでいる学校です。

### ★わが校の支援の取り組み

第八小学校は、平成23年度よりコミュニティスクールとなり、学校に関わってくださる地域の方々や様々な団体と密に連携し、より良い八小づくりに取り組んでいます。その活動の一つとして、平成27年度からPTAと協力をし、「一世帯一ボランティア」を募集し活動をしています。

\*八小の学校支援ボランティアは…

#### 《図書ボランティア》

【制作グループ】は図書室の飾りつけや菜づくりを月2回程度、【読み聞かせグループ】は読書旬間に各教室で読み聞かせをしています。

#### 《花いっぱいボランティア》

各トイレに花を飾る活動(月2回程度)、学校の花壇の手入れ、鈴木街道公園の花植えなどの活動をしています。

#### 《清掃ボランティア》

特別教室(パソコンルーム、家庭科室、体育館)の清掃を中心に、月2回程度の活動をしています。また、低学年の大掃除のお手伝いもします。

#### 《学習支援ボランティア》

各学年から必要とされる手伝いや引率などのボランティアです。以前は年度初めに登録をしてもらいましたが、平成30年度は各学年の先生方の協力により「学年だより」でボランティアを募集し、各学年の中で人数が足りない時に、全校に呼びかけをしてボランティアを募りました。学習支援ボランティアの運営については、まだ試行錯誤しています。

\*学校支援ボランティアの活動の輪を広げるための…

- ・ボランティアの方々のスキルアップの講座を開催しながら、“無理をせず、楽しく活動しよう!”をモットーに活動しています。
- ・「学校支援ボランティアだより」を作成、ボランティアに参加していない方にも活動を理解していただけるように、各ボランティアの活動日・活動の紹介・サポートネット講座の案内などのお知らせをしています。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～「ミシンボランティア」を紹介～

#### ①目的

家庭科(裁縫)5・6年生に、安全にミシンやアイロンを使用したり、縫い方などを見守ります。

#### ②取り組みを開始した経緯

5年生から学ぶ「裁縫」の授業の手伝いは、以前先生からの募集でしたが、学習支援ボランティアとして、コーディネーターがボランティアの手配をすることになりました。

#### ③活動内容

5年生の裁縫(玉どめなど)、5・6年生のミシンで、縫い方や正しい使い方を知ってもらうために各班に入って見守ります。

#### ④気をつけていること・苦労していること

- ・「ミシン講座」を開催し、5・6年の教材を作ってみて、ボランティアの方に共通理解をしていただけるようにしています。
- ・担当の先生とのコミュニケーションも大切で、連絡を密にしています。

#### ⑤この取り組みの成果

- ・5年生の初めての裁縫、5・6年生のミシンを使っただけの作品作りが、安全に楽しく理解して行われ素敵な作品が出来あがっています。

#### ⑥今後の課題

- ・ボランティアの人数の確保が一番の課題です。各班1名の計8名以上が理想です。この授業は、9月～10月にほぼ毎週あります。また、ミシンを使うという特別なことと思われがちです。ミシンだけでなくアイロンの使用などの安全の見守りも必要なので、たくさんの方が参加していただけるようにPRしたいと思います。

ミシンの見守り



アイロンの見守り





## 小平第九小学校の取り組み

～九小発地域を花でいっぱいしよう～

コーディネーター世話人：百瀬裕子・坂田智子

コーディネーターの人数(世話人含む):2人 ボランティアの人数:約10人

### ★わが校・地域の概要(様子)

小平第九小学校は、昭和40年4月、公団小平団地の完成に合わせ、小平第三小学校から独立してこの地に開校しました。児童数が1,600を超える時期もありましたが、現在は、506名18学級(特別支援学級を含む)となっています。

地域や保護者には卒業生も多く、学校、地域、保護者が連携して児童の健全育成に努めています。例えば、放課後や週末などに子どもたちの学びの場・体験の場を提供する放課後子ども教室、休み時間に子どもたちと共に昔遊びをする「ハッピー九」、PTAによる読み聞かせやランチルーム・図書室の環境整備、地域の方が朝校門のところで子どもたちを迎える挨拶運動など、日常的な活動が活発に行われています。

### ★わが校の支援の取り組み

園芸ボランティアの方々、学校の花壇を整備し季節の花を植えてもらっていますが、学校だけではなく地域も花でいっぱいにと取り組んでいます。

年に2回、4年生が中心になって鈴天通り商店街に夏は朝顔、初春はパンジーなどの鉢植えを届け、その時に学校行事の案内をするなど交流をしています。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～九小発花エコプロジェクト～

#### ①目的

お花で地域の方と交流し、学校も地域も花でいっぱいしよう。

#### ②取り組みを開始した経緯

平成22年度に「園芸ボランティア養成講座」を開催したのをきっかけに、地域との結びつきを深めたいとの思いから花を届ける活動が始まりました。

#### ③活動内容

季節ごとの花の植替えや、空いたスペースを学校の下承をもらい、新しく花壇として整備しています。

4年生が鈴天通り商店街のお店に「九小発 花エコプロジェクト」のシールを貼ったプランターのお花を届けています。季節ごとに入れ替えも行っています。

お花を届ける際には花の説明、学校行事のご案内等を話し、交流をしています。

#### ④気をつけていること・苦労していること

商店街の会長さんと密に打合せを行うようにしています。また、お花を置かせていただいているお店には、花の状態やお邪魔になっていないか等、お話をうかがいに行きます。

#### ⑤この取り組みの成果

商店街の方には、店頭においてある花のことでお客さんとの会話が弾むんですよ、と喜んでいただいています。

花を届ける活動日にはお店の前で待っていてくださり、交流が深まっています。また、商店街のお祭りには4年生に宣伝のポスターを描いてほしいとオファーをいただき、お祭り当日はそのポスターを展示し、お祭りを盛り上げるお手伝いをさせていただきます。

#### ⑥今後の課題

絶えることなく季節ごとのお花をお届けできるように時間の調整を行うこと。

子どもたちが種から育てた花をお届けできるようにすること。



## 小平第十小学校の取り組み

～ よりよい読書環境をめざして ～

コーディネーター世話人：今村泰子・小野玲子

コーディネーターの人数(世話人含む):2人 図書ボランティアの人数:32人

### ★わが校・地域の概要(様子)

小平第十小学校は、平成27年に開校50周年を迎えました。玉川上水と五日市街道の南側に位置しており、周囲は毎年住宅が増えています。宅地が増え大型マンションも次々と建ち、児童数も年々増えて市内の小学校で児童数がいちばん多い学校になりました。元気いっぱい人の話をよく聞くことができる、素直な児童768名です。毎日、元気よく朝のあいさつをしている姿が見られます。6年生をリーダーとした縦割り班の活動も盛んで、なかよし集会や毎日の掃除などにも取り組んでいます。

### ★わが校の支援の取り組み

学年ごとに、総合的な学習の時間や家庭科などの授業のお手伝いや付き添いをする「学習支援ボランティア」の募集・登録を継続しています。主には各学年・クラスで保護者に登録してもらい、授業のある活動日に都合がつく方に協力していただいています。他にも図書・園芸・登下校時の見守りなどのボランティアが活動しています。

また、「学校支援ボランティア養成講座」を開催し、本の修理の講座、花苗の植え替え講座や、防犯・安全に関する講座などを実施しました。養成講座に参加した方を始め、保護者や地域のボランティアの方々には、ボランティア登録カードを提出していただき、活動時には名札をお渡ししています。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～ 図書ボランティア ～

#### ①目的

よりよい読書環境のもと、子どもたちがたくさんの本に出会うことによって心豊かに成長してほしいと願って活動しています。

#### ②取り組みを開始した経緯

十小でいちばん歴史があるのが、図書ボランティアです。図書館システム移行の為にデータ入力作業以降、本の修理などを中心に活動を続けてきましたが、近年は児童数の増加と図書ボランティア養成講座などもきっかけとなり、登録人数も増えてきました。

#### ③活動内容

以前から続けている本の修理のほかに、クリーナーによる本の表紙の清掃、葉作りの手伝いなども行っています。

#### ④気をつけていること・苦労していること

ボランティア活動日は、平日なるべくいろいろな曜日に設定して、多くの方に参加してもらえるよう工夫しています。学級数が多いため、ボランティア活動時間帯に図書室を授業で使用する割合が以前よりも増えたため、図書準備室を中心にしながら活動しています。

#### ⑤この取り組みの成果

児童の「図書委員会」の本の葉作りの手伝い、図書担当の先生や学校図書館協力員との連携など、様々な連携をとりながら活動することができるようになっています。月に2回程度の活動の中で、修理が必要な本は整備されて書架に戻り、本のカバーの汚れもきれいになって子どもたちが手にとることができています。

#### ⑥今後の課題

年に数回でもよいので、都合の良いときになるべく多くの保護者の方々に関わってもらいたいです。ボランティアで学校に足を運び、併せて学校や子どもたちの様子にも触れることができる「ボランティア活動」を楽しみながら続けていってほしいと願っています。

## 小平第十一小学校の取り組み

～人と人とのつながりを大切にするボランティア活動～

コーディネーター世話人：大場志のぶ・櫻井清子

コーディネーターの人数(世話人含む):3人 ボランティアの人数:約50人

### ★わが校・地域の概要(様子)

小平第十一小学校は、小平市内でも北東部に位置し、学区域は東久留米市・西東京市と隣接する場所にあります。近年では、学区域の住宅の増加に伴い、児童数668名、20学級と増えています。

### ★わが校の支援の取り組み

本校では、学校支援ボランティアを5つの部門(学習・水泳・図書・環境・ベルマーク)に分けて、毎年それぞれのボランティア登録を募集しています。登録者のほとんどが複数の部門に登録をされており、大変協力的な支援をいただいています。また、地域の方が講師になっていただき「折り紙講座」を開催し、保護者・地域のみなさんにご指導をいただいています。引き続きの取り組みとしてデコパージュの手法でMYプレート作りの講座を開催し、校内の表示(プレート)作りをしています。そして平成30年度から「見守り隊」を立ち上げ、登下校の安全を見守っていただいています。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～安全で楽しい水泳指導～

#### ①目的

さまざまなボランティア活動を通して、子どもたちが安全で楽しく学校生活を送れる環境の整備を行うこと。また関わる保護者・地域の大人たちの良好な関係づくりのもと、子どもたちの安全を見守り、安心して水泳ができるようにサポートをしています。

#### ②取り組みを開始した経緯

水泳指導中の児童の安全を守るためには、多くの大人の目と手が必要だということで学校より依頼があり始まりました。

#### ③活動内容

開始前にプール内の落ち葉などのゴミを取り除いたり、着替えに慣れない低学年の支援をしたり、途中でトイレに行きたくなった児童の見守りなどを行っています。児童がプール内で活動中は、プールサイドにて安全を見守っています。

#### ④気をつけていること・苦労していること

次回のボランティアに参加してもらえるよう、無理のない範囲で楽しく活動ができるようお願いしています。また、本来の活動とともに、地域の方や異学年の保護者同士が交流し、活動を通して顔の見える関係づくりをしてほしいと願っています。

#### ⑤この取り組みの成果

事故なく水泳指導が行えています。そして平成30年には、プール横にある夏休みに使用する更衣室の整備を行い、子どもたちが安心感をもって参加できるように、環境を整えました。

#### ⑥今後の課題

児童数の増加や学童クラブへの申し込み希望者の増加により、活動場所が校内の最適などころでできなくなっている現状があります。

地域のより多くの方々にも活動を知っていただき、子どもたちと顔見知りになってもらい、あいさつができる関係になってもらえるようにしていきたいです。出来る人が出来る範囲で出来るボランティア活動ということを理解していただき、たくさんの方々に関わっていただきたいです。



## 小平第十二小学校の取り組み

～小平第十二小学校は、みんなの力でいつもきれいな学校です！～

コーディネーター世話人：養田早苗・澤井浩子

コーディネーターの人数(世話人含む):2人 ボランティアの人数:約90人

### ★わが校・地域の概要(様子)

小平第十二小学校は、玉川上水付近にあり、自然にあふれた環境のもと、閑静な住宅街に位置しています。保護者・地域も学校に対して協力的です。通学時には、通学路の5カ所に保護者・地域住民が立ち番として児童の登校を見守っています。平成21年に開校40周年記念式典を挙行了際には、改めて地域とともに歩む学校であることを児童・教職員・保護者が実感しました。平成23年度から、「あいさつ運動」に力を入れています。毎月上旬の1週間を「十二小あいさつ運動週間」とし、その月の担当学年の児童が正門と南門に並びあいさつを呼びかけています。平成30年に、開校50周年を迎え、記念式典・祝賀会を開催しました。地域、保護者、学校と力を合わせ、小平第十二小学校の児童を見守っていることを実感しました。

### ★わが校の支援の取り組み

- ・ふれあいパトロール、見守りボランティア：朝の登校時に通学路で児童を見守る、下校時に児童と一緒に歩く等、常に児童を見守っています。
  - ・けやきボランティア：特別支援学級けやき学級。保護者会時にけやき学級の児童を別教室で預かります。
  - ・図書ボランティア：図書室の飾りつけ、図書修理などを行っています。
  - ・花とみどり.12：平成22年に「花とみどり.12」を立ち上げました。十二小を花でいっぱいにするボランティアで、年2回花壇を植え替えています。また、夏休みには、花壇の水やりボランティアを募集し、活動しています。
  - ・おやじの会：平成24年に立ち上げ、毎年活動しています。平成30年度は6月に2階廊下の壁のペンキ塗りをしました。夏休みには、8月末の土曜日にカレー作りとキャンプファイヤーを企画し、たくさんの親子で体験しました。
  - ・昔遊びボランティア：低学年の総合の授業で体験する昔遊びをフォローしています。けん玉、こま、あやとりなどを、児童に指導しています。
- 様々なボランティアグループがあり、学校を支援しています。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～十二小連絡協議会の運営～

#### ①目的

学校支援コーディネーターの呼びかけで、学校、保護者と教職員の会(保教会)、青少対十二小地区(青少対)、わくわくルーム(放課後子ども教室)、支援コーディネーターで、相互のコミュニケーションをとるため開催しています。

#### ②取り組みを開始した経緯

学校支援コーディネーターが着任し、わくわくルームが設立され、学校を支援する組織が増え、情報の共有と、協力体制を作るため。

#### ③活動内容

会議は学期1回開催しています。各々の予定、相談したいこと等を話し合っています。

#### ④気をつけていること・苦労していること

学校の行事、コーディネーター、保教会、青少対、わくわくルームの1年間の予定表を作成し、一目で見られるようにしています。

#### ⑤この取り組みの成果

平成31年で10年目になります。小平第十二小学校は平成30年5月16日で、開校50周年を迎えました。こういう取り組みのなかで、開校50周年実行委員会をスムーズに立ち上げることができました。

50周年記念Tシャツを作成し、青少対の楽縁祭で販売することなど、協力するなかで、記念祝賀会も大成功に終わりました。

#### ⑥今後の課題

小平第十二小学校の児童数が増加しています。ますます、この十二小連絡協議会で話し合いを密にして、児童を見守っていきます。





## 小平第十三小学校の取り組み

～「7つのボランティアグループ」でよりよい学校環境づくり～

コーディネーター世話人：寺戸有子・吉永実穂

コーディネーターの人数(世話人含む):6人 ボランティアの人数:約40人

### ★わが校・地域の概要(様子)

本校は、平成30年度に開校50周年を迎えました。初夏になると開校記念樹のたいさんぼくの白い花が咲き、緑の芝生とのコントラストが見事です。50周年の記念式典で歌われた「十三小の校庭で」は、児童たちから寄せられた十三小のいいところが歌詞になっています。現在の児童数は381名。地域・保護者の協力で子どもたちの教育環境を整える活動を行っています。

### ★わが校の支援の取り組み

本校は、子どもたちがよりよい学校生活を送ることができるように、学校が必要とする教育活動の学習支援や環境整備、登下校時の見守りなどの活動をしています。地域や保護者のボランティアにたくさんの方の力をいただいています。

- ①学習ボランティア・・・学習の支援、校外学習の引率。
- ②図書ボランティア・・・本の整理や修理。季節ごとの飾り付け。
- ③グリーンボランティア・・・玄関付近を中心に四季折々の花植え。草取り、水やり等の手入れ。
- ④ランチルームボランティア・・・季節ごとのテーブルの飾り付け。クリスマスツリー装飾。
- ⑤環境ボランティア・・・用務員さんと学校内の設備、備品の補修、清掃。
- ⑥ふれあいパトロール・・・登下校時、子どもの安全見守りと声かけ。
- ⑦芝生サポーター・・・Jリーグスタジアムを管理している会社の指導を受けながら芝刈り等の手入れ。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～「十三小ネットワーク」～

#### ①取り組みを開始した経緯

近隣市での事件を契機に、当時の校長先生による「地域のみなさんの力を学校に」のひと声で、安全の見守りとあいさつ運動が始まりました。顔の見える関係づくりでふれあいパトロールが立ち上がり、現在は7つのグループで活動しています。

#### ②児童とボランティアのふれあい

顔の見える関係づくりを大切に、5月には全校朝会で「児童との顔合わせ」、2月には全校集会で「感謝のつどい」に参加しています。「感謝のつどい」では、ボランティアの各グループに感謝の手紙を読んでくれ、学童農園で作ったピーナッツのプレゼントがあります。

子どもたちの笑顔に元気づけられています。

#### ③広報

「ボランティアのつどい」を年3回行い、先生、地域、保護者で予定確認、情報交換をしています。「ボランティア通信」を年3回発行し、広報に努めています。



## 小平第十四小学校の取り組み

～理科や生活科の授業をサポートして子どもたちと一緒に花いっぱい 학교に！～

コーディネーター世話人：菅野成美・廣瀬理恵子

コーディネーターの人数(世話人含む):2人 ボランティアの人数:50人(H30年度登録者)

### ★わが校・地域の概要(様子)

小平十四小は、南向きの広くて大きな校庭に恵まれた、子どもたちの元気な笑顔あふれる学校です。花壇や学年畑が地域の方々サポートで徐々に土壌改良されたおかげで、敷地内には一年を通してきれいな花々がたくさん咲いています。

### ★わが校の支援の取り組み

本校では、子どもたちに広く本に親しんでほしいと願っており、学校をあげて図書室や図書ブース(2・3階の渡り廊下に設置された本棚と自由読書スペース)を整備しています。図書館協力員とボランティアが協力して季節飾りをするなど、子どもたちが楽しく本を読めるような環境作りに努めています。読み聞かせ活動については、登録のボランティアに限らず、たくさんの保護者の皆さんに協力していただいています。朝の時間に本を読んでもらうことで、落ち着いた気持ちで一日がスタートできると好評です。お花植えボランティアは、用務員さんにもご協力いただき、学校を花いっぴいにすべく精力的に活動しています。ベルマークボランティアは、運動会の優勝旗やトランペットを購入するなど、大きな目標に向けてコツコツと頑張っています。

### ★わが校の特徴的な取り組み お花植えボランティア ～ 子どもたちもいっしょに！が キーワード！～

#### ①立ち上げの経緯

もともとボランティアが花壇にお花を植えるだけの活動でしたが、子どもたちも植物に触れることで豊かな気持ちで学校生活を送ることができると考えて、積極的に理科や生活科の授業のサポートに入ったり、花育授業の企画・提案をしたりするようになりました。地域の野菜農家の方、園芸農家の方にご縁があり、スキルアップ講座に講師として来ていただき、かなり本格的な活動ができていると自負しています。最終的には子どもたちが花を植えたり野菜を育てたりすることのサポートまでつながっているのが特徴だと思います。

#### ②活動内容

一年中お花が咲いている環境を維持するために、園芸農家さんに相談しながら年間計画を立てて活動しています。子どもたちは花育授業で、花を種から育てたり、寄せ植えを作り一人一鉢お世話したりしています。子どもたちが種まきや植え付けをする際に、ボランティアがサポートに入っています。その他、スキルアップ講座で耕運機をかけていただいたり、防草シートやマルチビニールの使い方を教えていただいたりしたことで、花や野菜の育ちが良く、ボランティアも達成感を感じています。

#### ③気を付けていること・苦労していること

理科や生活科の授業のサポートに入ることも多いので、担任の先生方と何度も事前に打ち合わせをして、当日スムーズに活動できるように気を付けています。お花植えはお天気に左右されることが多いので、実際に活動が終わるまで気が抜けません。

#### ④今後の課題

年間を通して参加できる方が少なくなってきたので、いろんな方に参加してもらうにはどうしたらよいか、試行錯誤の日々です。毎月発行される学校だよりに毎月の活動予定を掲載させてもらい、活動ごとに、都合がつく人が気軽に参加できるようにしています。また、お子さんが卒業しても地域ボランティアとして参加していただけるようにお声かけをしています。



## 小平第十五小学校の取り組み

～十五小では図書ボランティアが日本十進分類法の授業をおこなっています～

コーディネーター世話人：片岡洋子・村崎恵子

コーディネーターの人数(世話人含む):6人 ボランティアの人数:約28人

### ★わが校・地域の概要(様子)

小平第十五小学校は、学童農園や緑豊かな自然環境に囲まれた地域にあります。子どもたちは先生方のご指導の下、異学年との交流や地域の方々との交流を通じて、「考える子」・「思いやりのある子」・「たくましい子」という教育目標を実践しています。また、日頃自由な行動を楽しんでいる子どもたちが、集会や避難訓練のような団体行動になると、自主的な判断でしっかりと規律ある行動をすることができます。長年にわたるこのような校風は、地域の誇りでもあります。

### ★わが校の支援の取り組み

平成14年度に学校支援ボランティア活動のモデル校として、保護者・地域の枠を超えたボランティア活動が導入されました。以来、かつて十五小に我が子を通わせた方達を中心とした地域の方々と現役の保護者が一体となって、子ども達の学校生活を支援してきました。当初「学校図書館ボランティア」と「花と緑の会」を二本柱に発足した活動は、設立から16年を経て、支援の輪はしっかりと学校と地域に定着した感があります。また、初心を忘れることなく、常に学校や担任の先生と連絡を取り合い、先生方と連携のとれた学校支援ボランティア活動を目指しています。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～校内移動図書館「かたつむり文庫」～

#### ①目的

低学年の間により多くの良い本に出会い、同時に本に囲まれたひと時を過ごしてもらうことは、その後の読書人生に良い影響を及ぼすと思われます。学校図書館には、先生方が選んだ様々なジャンルの良書がたくさんあり、また、子どもの様々な興味に添えてくれる本もそろっています。十五小では、図書ボランティア活動の一環として、低学年が本に親しむきっかけを増やす一助として、毎週一回月曜日の中休みに、学校図書館の本を1年生の教室がある1階のランチルームに持って行き、校内移動図書館を開催しています。

#### ②取り組みを開始した経緯

本校の学校図書館は北校舎3階にあります。一方、1年生の教室は、毎年南校舎1階に位置しており、中休みや昼休みに、低学年が気軽に学校図書館を訪れるには、少し遠い位置になります。そこで、図書ボランティアの活動開始早々に、学校から「1年生を対象に、1階で移動図書館をやってもらえないか」との依頼がありました。図書ボランティアでは学校からのこの依頼を受け、毎週1回、図書室の本を1年生の教室に並んでいるランチルームをお借りして、移動図書館を開催することにしました。「かたつむり文庫」という名前の由来は、当時話題になっていた新美南吉作「でんでんむしのかなしみ」という絵本と、雨の日はきっと児童でいっぱいになるようにとの気持ちから、当時の設立メンバーのボランティアが考えたものです。

#### ③活動内容

「かたつむり文庫」の活動は、毎年4月に1年生の各クラスの児童が、毎週順番に担任の先生に連れられて体験にやってくることから始まります。先生のご紹介でクラスみんなでこの校内移動図書館で中休みに好きな本を読み、身近な場所として感じてもらいます。各クラスの体験が終わるGW後から、1年生だけでなく、2年生以上も、本を読みたい児童が連れ立ってやって来ます。毎週月曜に、図書ボランティアの中で、特に地域の方(児童の現役保護者でない方)を中心に、図書室の本50～60冊を1回ランチルームに持って行き、中休みに来室した児童に自由に読んでもらっています。読んでもらいたい児童には、横に座って読んであげます。読みたい本があればリエストしてもらい、次の活動時に持って行くようにしています。春の読書旬間には、大型絵本を図書館からお借りし、読み聞かせをするイベントを行っています。

#### ④気をつけていること

読書は子どもの心を映すもので、個人情報です。一方、児童の中にはいろいろな思いを、先生や保護者、お友達とは違う「毎週会えるおばちゃん・おばあちゃん」だからこそ、ここで話してくれることもあります。ボランティアは、どの子がどの本を読んだか、どんな話をしてくれたかについて、守秘義務を持っています。参加するボランティアは、毎年開始前にこのことを確認し、活動に臨んでいます。

#### ⑤この取り組みの成果

本校には本の好きな児童であふれています。図書室は遠くても、かたつむり文庫で本に親しむ子がたくさんいることも、影響があると自負しています。また、中々お友達と上手に遊べなかった児童が、かたつむり文庫でボランティアと一緒に低学年のお世話をするうちに、自分のクラスのお友達と遊べるようになったことがあり、居場所づくりとしても役に立っていることを感じます。

#### ⑥今後の課題

雨の日は椅子が足りなくなる程多くの児童で満員になります。そんなときは地域の方のボランティアの数が足りず、現役保護者のボランティアの方に助っ人になっていただきます。お子様の卒業後も定期的に参加してくださるボランティアの確保が課題です。



## 花小金井小学校の取り組み

～ボランティアさんに支えられたアットホームな学校です～

コーディネーター世話人：撫養英子・渡部真弓

コーディネーターの人数（世話人含む）：2人 ボランティアの人数：約80人

### ★わが校・地域の概要（様子）

花小金井小学校は、西武新宿線花小金井駅から徒歩7分のところにあり、学区域は、線路を挟んで南側に広く、中ほどをグリーンロードが通り、小金井公園に接しています。創立から約45年と、市内では比較的若い学校です。周辺にマンションや住宅が増え学区域も広がり、児童数も年々増加しています（児童数 461人 平成30年11月現在）。地域の方も子どもたちを見守ってくださるアットホームな学校・地域です。

### ★わが校の支援の取り組み

本校では、「図書」「園芸」「安全」「学習支援」など学校を支援して下さる方々を『花小サポーターズ』と称して、学校と家庭・地域社会の連携と協力を図り、地域ぐるみの教育活動を充実させるようにと、それぞれのグループが力を注いでいます。

「図書ボランティア」は読書週間や調べ学習の目標を達成した子どもたちへしおりをプレゼントしたり、毎週の様に読み聞かせや季節に合わせた装飾を作り活動しています。「園芸ボランティア」は、花壇や畑の整備を中心に、学童農園での授業の支援をしたり、子どもたちと一緒に花や野菜の栽培・収穫を楽しむ活動をしています。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～ ボランティアが大活躍しています～

#### ①目的

ボランティアの活動を保護者の方に知っていただき、さらに地域の方を含め学校に参加しやすい環境を作り、子どもたちの為にボランティアの人数を増やしていく事を目指しています。

#### ②取り組みを開始した経緯

「図書ボランティア」は子どもたちが読書に親しみ、図書室をより活用するために17年程前から始めました。「園芸ボランティア」は平成17年の新校舎増築工事により踏み固められてしまった中庭の整備を、保護者や地域の方々をお願いしたことで始めました。その後、各学年の先生方と相談しながらの定期的な活動が続いています。

#### ③活動内容

毎週火曜日、金曜日の午前中を定期的な活動日としています。

「図書ボランティア」は読み聞かせや装飾などの他、本の修理や整理をし、定期的に本を拭くなど図書室の環境美化に取り組んでいます。また、学校と協力し調べ学習のサポートをしています。

「園芸ボランティア」は校内の畑を耕したり、児童が行う植え付けや栽培、収穫に至るまでのお手伝い、花壇づくり、草木の剪定・草刈など、校内の環境美化のお手伝いをしています。特に、授業に合わせた活動では、先生と一緒に計画を立て、児童との作業も共にしています。5年生の稲作授業では、田んぼ作りに力を注いでいただきとても良い経験ができています。

「ボランティア養成講座」では、図書・園芸の各ボランティアさんが楽しみながらスキルアップしています。その他にも学習支援に生かせる『食育』『心理学』などの講座も開催しています。

#### ④気をつけていること・苦労していること

メンバーが無理なく継続していけるような活動を計画しています。学校と相談しながら「できる時にできる範囲で」と考えて行っています。

#### ⑤この取り組みの成果

装飾などの温かい雰囲気図書室を中心に多くの子が図書に親しんでいます。読み聞かせや調べ学習を通し、子どもたちは幅広い本に興味をもち、読書や学習への意欲につながっています。

また、学童農園で収穫した作物が給食に出され子どもたちも喜んでいきます。

#### ⑥今後の課題

保護者・地域のボランティアさんを増やすことが課題です。そのために入りやすい環境作りをし、繋がりを大切にしていきたいと考えています。



## 鈴木小学校の取り組み

～鈴木小学校の図書ボランティアは「図書室応援隊！」～

### コーディネーター世話人：磯貝京子

コーディネーターの人数(世話人含む):1人 ボランティアの人数:約30人

#### ★わが校・地域の概要(様子)

今からおよそ3万7千年前の旧石器時代の遺跡(鈴木遺跡)の上に建つ、全国的にも珍しい学校です。

開校は市内でも比較的新しく、単学級の学年もある小規模校ですが、学級・学年を越えて皆で協力する児童を、保護者や地域の方々が見守っています。

#### ★わが校の支援の取り組み

鈴木小では年3回の読書旬間を設け、「親子読書」「テーマ読書旬間」を行っています。また、「朝読書」「読書記録カード」にも取り組んでいます。そうした中で、子どもたちに「利用しやすい・親しみやすい図書室づくり」を目的に、毎年保護者に向けて「図書ボランティア」を募集しています。主な活動は図書室の環境整備と本の修理ですが、無理のない程度にその時々協力できることを見つけ「図書室応援隊！」として活動しています。

#### ★わが校の特徴的な取り組み ～「図書室応援隊！」とは～

##### ①目的

子どもたちの読書活動の充実を図るため、図書室の環境整備のお手伝いをしています。

##### ②取り組みを開始した経緯

「利用しやすい・親しみやすい図書室」への改装を考えた年に、保護者や地域の方に協力をお願いしました。その後は「図書ボランティア」を保護者から募り、図書室の環境整備や読み聞かせ等の活動が継続して行われています。

##### ③活動内容

年度初めに図書館協力員、担当教諭と顔合わせを行い、1年間の活動計画を立てます。

- ・本の修理(月1～2回午前中)
- ・環境整備(書架の壁面の整備・図書室内外の装飾を適宜行う)
- ・読書旬間中のお話会や読み聞かせ

##### 《過去の主な活動》

- ・書架の大掛かりな整備・読書コーナー作り
- ・図書室の廊下壁面の季節に合わせたタペストリー作り
- ・西日から図書を守る為に子どもたちが作った折り紙工作
- ・黒板や机周りの目隠しを兼ねたタペストリー作り
- ・協力員の在不在をお知らせする人形作り
- ・中休みに行われた「読み聞かせ」「パネルシアター」「大型絵本を使ったお話会」
- ・読書活動の取り組みを応援することから、1年生向けに「葉」を作成



##### ④気をつけていること・苦労していること

図書館協力員、担当教諭との連絡を密にできるよう、活動終了後に「図書ボランティア連絡ノート」への記帳をお願いしています。活動日、活動内容は皆で話し合っ決めて決めます。活動日時の変更は、保護者代表者やボランティア間で気兼ねなく連絡し合っています。

##### ⑤この取り組みの成果

様々な活動を通して、子どもたちへの「応援隊」としてのやり甲斐も感じてもらえているようで、子どもの卒業後も活動に参加してくれるボランティアが年々増えています。

##### ⑥今後の課題

誰にでも参加してもらえる内容ではありますが、「本の修理」という経験者の指導をつなぐ必要もあります。「図書ボランティア向け講習会」の開催でボランティア以外の保護者・地域の方への周知と併せて、「長く・無理なく・楽しく」参加していただけるよう、時には活動内容やボランティア間の雰囲気もコーディネートしていく必要を感じます。

## 学園東小学校の取り組み

～ 学園東小学校はコミュニティ・スクールとして、地域とともにある学校づくりを進めています ～

コーディネーター世話人：込戸花織・河北真弓

コーディネーターの人数(世話人含む):2人 ボランティアの人数:約30人

### ★わが校・地域の概要(様子)

学園東小学校は、東側は小平駅に通じるあかしあ通り、西側は西武多摩湖線の一橋学園駅、南側は警察学校・陸上自衛隊小平駐屯地、北側は青梅街道があり、四方を商店街に囲まれた比較的に静かな住宅街の真ん中に位置しております。児童数は約380人で多くはありませんが、明るく元気な児童が多い学校です。また、コミュニティ・スクールとして、学校経営協議会を中心に学校・家庭・地域の絆を深め、子どもたちを取り巻く環境をよりよいものにしていくよう、取り組んでいます。

### ★わが校の支援の取り組み

- ①お店番体験：総合的な学習の時間に実施しています。地域の商店に協力していただき店舗での業務の一部を体験させていただき、また、保護者のボランティアに児童の送迎のお手伝いをしていただいています。
- ②ゲストティチャー：放課後子ども教室の『茶道教室』『絵手紙教室』の先生方に総合的な学習の時間に授業をお願いしました。
- ③昔遊び体験：地域の方々をお願いして生活科の学習の時間に、昔遊びを教えてくださいました。
- ④ランチルームの飾りつけ：子どもたちが楽しい給食時間を過ごせるよう、季節にあった飾り付けをしています。飾りもセロファンを使った飾りを作るなど、保護者のボランティアに活躍していただいています。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～ お店番体験 ～

#### ①目的

「総合的な学習の時間」で学ぶ子どもたちの活動を支援します。

#### ②取り組みを開始した経緯

小学校の周囲にある商店で、「お店番体験をしよう」（総合的な学習の時間）という授業に協力していただけるお店探しをしました。

#### ③活動内容

学校の授業の計画で、2日間かけて「お店番体験」をします。見学や体験をするだけでなく、子どもたちができる手伝いや子どもたちが考えた活動で可能なものを実践させていただき学習です。コーディネーターがお店番をお願いするために直接お店に通い、授業のねらいを伝え、ご相談します。了承を得たあとは、学校へ橋渡しします。

協力してくださったお店の方々には、子どもたちにとって良い体験活動ができたという『体験学習発表会』に来ていただきます。

#### ④気をつけていること・苦労していること

学校とお店との日程調整。新規店舗の開拓。

#### ⑤この取り組みの成果

毎年快く協力して下さるお店もあり、また新たな協力店も増え、子どもたちの学習活動に役立っています。また、ご協力くださったお店の方々には、体験学習発表会に来ていただくことで、ますます学校との強い絆ができています。

#### ⑥今後の課題

これからも私たちコーディネーターは学校と地域との繋がりが持続するよう努力していきます。



## 上宿小学校の取り組み

～上宿小学校は、各種ボランティアのおかげでいつも笑顔があふれています～

コーディネーター世話人：菊地ゆみ・羽根田厚子

コーディネーターの人数(世話人含む):7人 ボランティアの人数:約50人

### ★わが校・地域の概要(様子)

上宿小学校は、玉川上水近郊にあり、市内で最後の設立校と歴史は浅いですが、閑静な住宅街に囲まれています。保護者や地域の方も学校に大変協力的な地域です。

ランチルームも児童の教室に変わる等ボランティアの活動場所には苦勞していますが、他の青少対・クラス委員会・放課後子ども教室とも協力し、工夫しながら活動しています。

### ★わが校の支援の取り組み

上宿のボランティアは、  
下校見守りボランティア 授業支援ボランティア 図書ボランティア お話の森ボランティア  
グリーンボランティア お手紙ボランティアがあり、状況により「通訳ボランティア」や「スクールカーペンター」なども活躍します。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～ 副校長先生直結の「お手紙ボランティア」が活躍しています～

#### ①目的

学校から地域の方へのお便りの配布のお手伝いをお願いしています。

#### ②取り組みを開始した経緯

それまでの学校便りなどは、児童が配達をしながら、地域の方とのコミュニケーションをとっていましたが、時として届かないという状況もありました。(現在児童には、青少対のお便りを地域の方に配布をしてもらっています。)その改善策として“お手紙ボランティア”が発足し、現在まで継続しています。

#### ③活動内容

毎月第一週目に集まり副校長先生から託された配布物を楽しくおしゃべりしながら折り、封入して、地域毎に分けて担当地域の自治会に配布をしています。

#### ④気を付けていること・苦勞していること

小さいお子さんがいらっしゃる方もあり、ボランティアの方に無理のないように気を付けています。

#### ⑤この取り組みの成果

確実に各自治会に手紙が配布できるので学校の信用度が上がったことだと思います。また、各ボランティアも楽しく取り組みながら、地域を歩くことで通学路などの危険箇所もチェックしていくことができるのも成果です。

#### ⑥今後の課題

ご自分の都合よりボランティアを優先してくださる方が多く、心苦しいです。  
誰もが気軽に継続できるには、気軽に始められ、気軽に辞められる環境作りが課題です。

(小さなボランティアも活動中!!)

(みんなで仕分け)

(各自治会等へ配布されます)







## 小平第一中学校の取り組み

～外部講師の活用による「人権教育」の推進～

コーディネーター世話人：保坂明子・布 昭子  
 コーディネーターの人数(世話人含む):2人 ボランティアの人数:約20人

### ★わが校・地域の概要(様子)

開校70周年を迎えた伝統のある本校では、地域の人たちの深いつながりの中で子どもたちが伸び伸びと育つ環境にあります。全校生徒は476人(平成29年3月1日現在)で、1年は5学級・2年は4学級・3年は5学級、特別支援学級は2学級です。小平駅の南側を学区とし、近代的な建物がある一方で畑も多数あり、農産物も畑で売られている地域です。学区の西には西武多摩湖線が通り、市役所があります。図書館と公民館の複合施設「なかまちテラス」も学校に近接しています。古くからこの地域に住んでいる方が多く、3世代とも一中出身である家庭も少なくありません。

### ★わが校の支援の取り組み

総合的な学習の時間を活用しての1年生の職業人講話(ジョブスクール)をはじめ、学校のニーズに合わせて学校支援コーディネーターが地域や保護者、教員と協働して、学校外の力を授業に効果的に生かすようにしています。子どもたちが多様な世界に触れて自分を発見するきっかけはもちろん、関わる大人にとっても自分自身を振り返る機会になっています。また小平市教育委員会の施策である小・中連携教育の方針に基づき、小平第十四小学校と学園東小学校と連携して、文部科学省の「次世代を担う子どもの文化芸術体験事業」を活用した「コミュニケーション講座」を展開し、連続性のある指導の下、いわゆる「中1ギャップ」への対策を行っています。また図書室の開館や整備のための支援ボランティアの活動も活発です。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～コミュニケーション講座について～

#### ①目的

豊かな人生を歩むために必要なコミュニケーション能力(思考力・判断力・表現力)の育成。人権尊重教育推進校研究の取組(自己肯定感の向上)への支援。

#### ②活動内容

- ・中1、中3を対象に事前・事後のアンケートを実施。
- ・演劇の専門家である講師の指導の下、グループでコミュニケーションゲームや創作活動に取り組む。その過程で他者とのイメージの違いを受け入れ、認め合うことの大切さや、グループで役割を担うことの重要性を体感すること、コミュニケーション能力を育てていくプログラムである。

#### ③気を付けていること・苦労していること

対象学年の生徒の発達段階や各学年が抱える課題や現状を共有し、学校生活(授業や行事)とのつながりを意識した日程調整など、講師と教員とコーディネーターが事前の準備を丁寧に行っている。

#### ④この取り組みの成果

- ・表現する楽しさや一緒に創り上げ表現する喜びを実現するとともに多様な価値観を受け入れる心を育む効果がある。
- ・専門家による、生徒を多様な視点でとらえる授業を参観することで、教員にとってクラス運営などの参考になっている。
- ・同プログラムに則った指導を学区内の6年生で実施した上で進学してくるので、中1ギャップの解消の一翼を担っている。
- ・自らの考えをより良く人に伝える学習が、受験時の面接対策などにも役立っている。

#### 【ワークショップの様子】



## 小平第二中学校の取り組み

～福祉について考え、社会のために主体的に行動することの大切さを学ぶ 福祉体験プログラム～

コーディネーター世話人：布 昭子・寺戸有子

コーディネーターの人数(世話人含む):8人 ボランティアの人数:約76人

### ★わが校・地域の概要(様子)

小平第二中学校は、昭和30年9月、現在の小平第一中学校の分校として開校し、昭和32年4月に小平第二中学校として創立され、平成30年、創立61年目を迎えています。平成29年、創立60周年記念式典を機に標準服を一新し、さらに新たな一歩を踏み出しました。また、開校以来63年間、多くの地域の皆様、卒業生の皆様のご尽力により、地元の中学校、地域と歩む中学校として充実した教育活動を展開しています。また、昨今では、「生徒に自信をつける。」生徒・教職員・地域住民が誇れる『二中プライド』の確立をめざし、学校経営の形態をコミュニティ・スクールとし地域とともにある学校づくりを目指しています。

### ★わが校の支援の取り組み

#### 小平二中コーディネーター部会

##### 学習支援

授業支援(通常授業・  
総合・放課後学習)  
個別指導支援

##### 部活動支援

部活動指導支援  
外部指導員の紹介

##### 家庭教育支援

ぷらっと親の会  
(スクールカウンセラー)

##### 生活安全支援

地域パトロール  
個別指導・生活支援

##### PTAボランティア

総合的な学習の時  
間・地域委員会・  
すみれの会

### ★わが校の特徴的な取り組み ～福祉体験～

#### (1) 目的

- ① 核家族化が進む中、高齢者とのふれあい交流を体験する。
- ② 体験活動をとおして「福祉」について自分の考えをもつ。
- ③ 社会のために主体的に行動することの大切さを学ぶ。

#### (2) 取り組みを開始した経緯

教員から「本物にふれる体験授業をしたい。しかし、学校のカだけでは難しい。だからぜひ協力してもらいたい」と相談があった。学校の熱い思いを受け、コーディネーターと教員の信頼関係ができていった。そして、学校とコーディネーター部会が協力して、生徒が本気で関わり、生きた学びができる福祉体験の授業を作ろうということになった。

#### (3) 活動内容

- 事前授業 ●体験・5日間
- 事後の発表

#### (4) 気をつけていること

- ・ただの体験だけでは意味がない→事前事後学習の充実。
- ・学校、コーディネーター、保護者や地域が課題を含め情報共有できること。

#### (5) この取り組みの成果

- ・体験を確かな学びにつなげた。
- ・学校、コーディネーター、地域(保護者)が「チーム」となり、生徒の学びを最大限サポートする環境を整えた。
- ・生徒が実感できるプログラムを毎年見直しをしながら、内容をより良くしていけるようになった。
- ・あいさつがよくできて、どんな活動にも積極的に取り組む様子が見えた。
- ・「学校支援コーディネーターおよびPTA」として本取組が文部科学大臣表彰を受けた。

#### (6) 今後の課題

- ① さらに理解を得られるように、受入先の事業所との連携を深める。
- ② ボランティアの募集。
- ③ 学校と地域がさらに連携を深めるために協議を重ねること。

#### 【事前学習】

講師とPTAボランティア



#### 【福祉体験当日】





## 小平第三中学校の取り組み

～学校支援でより健やかな三中を！～

コーディネーター世話人：北村明美・大室なごみ

コーディネーターの人数(世話人含む)：2人 ボランティアの人数：約15人

### ★わが校・地域の概要(様子)

平成30年で創立56年目を迎え、落ち着いた学校生活を送っています。地域の福祉施設訪問、小平市総合防災訓練、地域清掃などにも積極的に取り組みました。また、学校行事でも全校生徒が集う運動会・音楽祭は盛観です。

部活動もどの部もたいへん盛んに活動しており、吹奏楽部は地域の方々に支えられて全国大会連続出場を果たし銀賞を受賞しました。

### ★わが校の支援の取り組み

学校支援は、図書室・一輪挿し・書写授業支援等のボランティアを行っています。図書室では本の整備・季節毎の室内装飾・葉作りとブックカバーの作製を、一輪挿しでは校内の手洗い場・廊下・女子トイレ等に花を飾ります。書写は毛筆による書き初めの授業支援をします。ボランティアのスキルアップを目指し、切り紙・ブックカバー作り・書き初めの課題の講習会を開催し、ボランティアの方々に好評を得ています。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～「放課後質問教室」～

#### ①目的

定期考査前に質問教室を開催することで、生徒の学習の支援を行います。

#### ②取り組みを開始した経緯

定期考査前1週間は原則として部活動を停止して学習時間の確保につとめていますが、生徒1人ではなかなか進まない学習を支援できるようにと始めました。

#### ③活動内容

定期考査前の2日間、放課後15時45分から16時45分まで、生徒が定期考査の範囲の学習をすすめて、質問があるときには担当の教諭に指導に入ってもらいます。

#### ④気をつけていること・苦労していること

生徒によって取り組み姿勢に差があるため、集中をうながし声かけをしています。

#### ⑤この取り組みの成果

教諭に質問できる体制をとることにより、意欲的に学習に取り組み、質問を準備してくる生徒も出ています。教諭も熱心に指導に当たり、生徒の意欲的な取り組みにえています。

#### ⑥今後の課題

各学年毎に教室を確保できるとよいですが、指導者の行き来しやすい環境と空き教室等の点から2教室で運営しています。生徒の集中力が途切れたときに気持ちを切り替えて学習に取り組めるよう工夫していきたいです。



## 小平第四中学校の取り組み

～ 健やかな成長を願いながら・・・「園芸ボランティア」～

コーディネーター世話人：今村泰子・永坂るり子

コーディネーターの人数(世話人含む):2人 園芸ボランティアの人数:10人

### ★わが校・地域の概要(様子)

小平第四中学校は平成27年度に開校50周年を迎えました。周囲には住宅地が立ち並び、特に近年では校区内に高層住宅も多く見られるようになりました。また、学校のすぐ南側には玉川上水が流れており、四季の移ろいを身近に感じることができるよい環境に恵まれています。

生徒数は505名、勉強のほかに部活動や生徒会活動などにも熱心に取り組んでいる姿が見られます。

### ★わが校の支援の取り組み

図書室の昼休み・放課後開室の手伝いや図書室の装飾・しおり作りなどを行う図書ボランティア、環境整備の一環として、花壇やプランターの花の手入れ・水やりなどを行う園芸ボランティア、学習支援(家庭科・美術など)ボランティアなどの活動をしています。他に、地域清掃時の見守り等の支援なども行っています。

年度当初に「学校支援ボランティア登録のお知らせ」を配布して登録カードを出していただいています。また活動時にはボランティア専用の名札を用意しています。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～ 季節感あふれる環境をめざして～

#### ①目的

学校の花壇の手入れや花植えなどを行い、花や緑の維持を心がけ、よりよい環境を目指しています。

#### ②取り組みを開始した経緯

環境整備の一環として、十数年前から学校の中庭の他にもいろいろな場所に花壇やプランターなどを増やしてきました。以前には「ガーデニングコンテスト」に出展し、受賞したこともありました。

#### ③活動内容

毎年春と秋に講師をお迎えして「園芸ボランティア養成講座」を開催し、保護者・先生・地域の方と寄せ植えや花苗の植え替えの方法について学んでいます。花植え作業には、生徒も参加することもあり、皆で一緒に楽しみながら作業をしています。

養成講座に参加した方を始め、園芸ボランティア登録者の方々には、花柄摘みや水やり、草取りなどのボランティアをお願いしています。

#### ④気をつけていること・苦労していること

養成講座で用意する花苗、学校で購入していただくものなど、学校とも相談しながら調整しています。

時期によっては当番制で水やりをしたり、日時を決めて数名集まり草取りなどの作業をすることもあります。

#### ⑤この取り組みの成果

花壇やプランターの花や緑が維持できていて、季節を感じてもらうことができます。

#### ⑥今後の課題

関わってくださるボランティアの人数が少ないので、もう少し増やしていきたいと思います。宿根の植物や長持ちするものをうまく活用しながら、花と緑の維持を継続していきたいです。

## 小平第五中学校の取り組み

～ボランティア登録制を行っています～

コーディネーター世話人：毛利 弘美

コーディネーターの人数(世話人含む):1人 ボランティアの人数:約48人

### ★わが校・地域の概要(様子)

小平五中は学区域が東西に大変広く、青梅街道を中心に古くからの小平の住人に加えて、マンションや新興住宅にお住まいの方も多く、学校に対する関心は全体的に高いため、ボランティア活動などに協力的な方が多い地域です。生徒の多くは五中学区域の3つの小学校から入学します。

五中ブロック会議という青少年対策地区委員会主催の会議が行われ、小中学校の先生、PTA、青少対、各校の学校支援コーディネーター、学区内の私立の小中高校、都立高校の先生方と学期ごとに情報交換や交流をしています。そのため地域の方の理解も深く、温かく見守っていただいています。通学路には玉川上水があり、環境も四季を感じることが出来ます。生徒数は570名で、全体的に落ち着いた学校生活を送り、学校行事や部活動等に熱心に取り組んでいます。

### ★わが校の支援の取り組み

本校では、年度初めに授業支援(総合的な学習の時間、特別支援学級授業支援)、図書、花壇整備、学校行事の項目別に、ボランティアを募集し、登録制で活動しています。

学校からの要請があった内容について人材をコーディネートしています。登録した方だけで足りない場合は、個別対応をしたり保護者にボランティア募集のお知らせを出したりして、随時募っています。

また、「職業人のお話を聞く会」も先生と一緒に行いました。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～特別支援学級ボランティア～

#### ①目的

特別支援学級の見守り

#### ②取り組みを開始した経緯

平成19年に小平五中に特別支援学級が設置されました。翌年の平成20年から授業時の見守りとして、学校からボランティア要請があり、携わるようになりました。

#### ③活動内容

美術・職業家庭・作業(刺繍、木工、畑)・保健体育などの授業の見守りを行いました。

また、校外学習の球技大会とマラソン大会(試走会と当日)には、1日引率にボランティアをコーディネートしました。

#### ④気をつけていること・苦労していること

特別支援学級にボランティアが入るときどのようにしたらよいか先生に伺ったところ「生徒が自分の課題が分かり自分から取り組めることを大切にしています。またコミュニケーションの力も伸ばしたいので、困ったときに『困ってます、助けてください。』ということ、言葉で伝えられることも大切にしています。生徒は個々に特性が違うので、その都度確認しながら進めていきたいと思っています。」と言われました。このことはボランティアが先生と連携し進めていけるようボランティア養成講座にて伝えていきます。

また、ボランティアが困ったときは、コーディネーターとして話をいつでも聞くということを伝えていきます。

#### ⑤この取り組みの成果

生徒の安全を見守ることができました。また中学校3年間、生徒を見守っていることで、生徒の成長を感じることが出来ます。

#### ⑥今後の課題

毎年新しいボランティアが登録しますが、自分の子どもが卒業すると、ボランティア登録をやめてしまう方がいることです。

地域の人材として1人でも多くの方に残っていただけるように働きかけていきたいと思っています。





## 小平第六中学校の取り組み

～ 学習支援 ～

コーディネーター世話人：東宮聡子・櫻井清子

コーディネーターの人数(世話人含む):2人 ボランティアの人数:43人

### ★わが校・地域の概要(様子)

小平第六中学校は、南に「小平ふるさと村」、北に「FC東京」のグラウンドを控え、近くを四季折々の草花が楽しめる「多摩湖自転車道」が通る、自然に恵まれた地区にあります。

創立47年(平成30年度)になる、各学年5～6クラスの学校です。「敬愛」・「勤勉」・「創造」を教育目標とし、部活動にも熱心に取り組んでいます。吹奏楽部は全国大会、各種コンクールの受賞常連校です。平成26年度からコミュニティ・スクールに指定され、同じ学区の小平第七小学校、小平第十一小学校との連携を強くしています。

### ★わが校の支援の取り組み

学習支援(通常授業、授業準備など)と花壇の手入れ・熱帯魚の水槽の手入れ・図書室の蔵書点検・装飾など。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～ 学習支援 ～

#### ①目的

生徒たちが学習や作業をより効率的かつ円滑に進められるようにするため。

#### ②取り組みを開始した経緯

平成17年に家庭科の授業で、被服は生徒の進度に差が出ることから、均等に作業が進められるように、調理実習は包丁使用時の安全確保のために、当時のPTAサークルメンバーとPTA学年役員が支援を開始したのが始まりで、現在に至ります。

#### ③活動内容

- [家庭科]：保育実習付き添い
- [数学科]：補助
- [国語科]：書写(毛筆・硬筆)補助
- [英語科]：補助
- [理科]：実験補助と見守り
- [夏の学習(国語・数学・英語)]：補助
- [体育科]：夏のプール指導の見守り



など、その年度毎に担当教諭からの要請に応じて対応しています。

#### ④気をつけていること・苦労していること

- \* 毎年、年度初めにボランティアの顔合わせ、養成講座を実施して、学習ボランティアとして参加する場合の注意事項、生徒対応についてなどを解説し、共通認識を持つようにしています。
- \* 学習支援の現場では、生徒に応じて様々な対応が必要で、特に個別の支援が必要な生徒の対応は、本の知識だけでは解決できず、また、対処したことがすぐに効果が出るものではないので、随時ボランティアの方々の意見を聞き、担当教諭との連絡を密にするように心掛けています。
- \* 年度末にボランティアの皆さんの感想、要望、意見を交換し、学校に伝えています。

#### ⑤この取り組みの成果

教諭から「授業が安全に計画どおりに進められた。」「プール指導では、ボランティアさんたちがプールサイドから生徒たちを見守ってくれたので、安心して指導に集中できて良かった。」などの声をいただいています。一方、ボランティアからは、「元気をもらったり、生徒たちから学ぶことがある」とボランティア活動を好意的に受け止め活動してくださっています。

#### ⑥今後の課題

子どもの中学校卒業と同時に登録解除する保護者のボランティアの方が多く、いかに長くボランティアを継続してもらえるかが課題です。

## 上水中学校の取り組み

～上水中は緑豊かで花いっぱいです～

### コーディネーター世話人：高橋雅子

コーディネーターの人数(世話人含む):1人 ボランティアの人数:約20人

#### ★わが校・地域の概要(様子)

上水中学校は玉川上水のほとりにあり、閑静な住宅街の中にあります。保護者や地域の方も大変協力的な地域です。小規模な学校ですが、生徒は落ち着いて、安定した雰囲気です。

#### ★わが校の支援の取り組み

本校は以前から、花壇の整備に力を入れています。「花と緑のボランティア講座」を年数回開催し、保護者の方、地域の方を中心に、寄せ植え、花の育て方について、ご指導いただいています。

#### ★わが校の特徴的な取り組み ～ 緑のボランティアが盛んです～

##### ①目的

学校の花壇を整備して、花を育て、生徒たちの心が明るくなるような雰囲気作りを目指しています。

##### ②取り組みを開始した経緯

平成23年に住宅街の真ん中にある学校に相應しい、緑の多い学校をつくることを目標にしました。

##### ③活動内容

年2回、市内の園芸農家の方を講師に迎え「ガーデニング講座」を実施します。PTA役員の方々がとても協力的で、特に年度末には、卒業式、入学式にあわせて、花壇の花が最高にきれいになるように整備します。

##### ④気をつけていること・苦労していること

学校の行事、PTAの行事との調整をして、無理なく計画しています。

##### ⑤この取り組みの成果

保護者の方がとても協力的で、生徒達もきれいな花壇に興味を持ってきています。生徒の整備委員会が作っている花壇も、お互い競いながら楽しく活動しています。

##### ⑥今後の課題

上水中学校は緑が多いので、今後も花壇を増やしていきたいと思います。



## 花小金井南中学校の取り組み

～ 自習学習のお手伝い 地域の支援員さんに支えられて～

コーディネーター世話人：高橋良枝・杉谷さつき

コーディネーターの人数(世話人含む):2人 ボランティアの人数:約40人

### ★わが校・地域の概要(様子)

花小金井南中学校は小金井カントリークラブの北側に位置し、緑多い静かな環境にあります。平成23年に特別支援学級も設置され、ここ2～3年で生徒数が増えてきました。穏やかで落ち着いたのある雰囲気の中学校です。

### ★わが校の支援の取り組み

平成29年度より、通常学級は定期考査前の1週間を自習での実施形態で、また30年度2学期より特別支援学級では基礎学力向上を目指して毎週木曜日に放課後学習教室を設けています。

### ★わが校の特徴的な取り組み ～自習学習のお手伝い 地域の支援員さんに支えられて～

#### ①目的

学校において、生徒の自主的な学習への取り組みを応援するため設けました。

#### ②取り組みを開始した経緯

コーディネーター世話人の取り組みとして、通常学級では定期考査に向けて不十分な点や疑問点を克服できる場として平成29年度より、特別支援学級では基礎的な学力の向上を目指して、平成30年2学期より始めました。

#### ③活動内容

通常学級は定期考査前の一週間、終業時より18時まで、特別支援学級は毎週木曜日16時から17時までを、自習形式で苦手科目の克服や基礎力の向上に向けて学習に取り組んでいます

#### ④気を付けていること

コーディネーターは支援員さんと密に連絡をとるようにして日程調整をし、生徒の参加人数の把握と出欠席の確認をし、下校まで見守るよう心掛けています。また支援員さんが活動しやすい環境作りのお手伝いをしています。

#### ⑤この取り組みの成果

生徒のみなさんの確実な学習時間を確保し、塾や専門家に頼らなくても密な指導が受けられ、充実した学習時間を過ごせています。

#### ⑥今後の課題

地域や地元大学生の支援員さんに支えられて運営できています。特別支援学級の取り組みはまだ試行錯誤の段階です。生徒と支援員さんの信頼関係を築き、教員の助言も取り入れながら充実した学習時間が過ごせるよう体制を整えていきたいと思ひます。





**未来を担う子どもたちを地域で育てる  
小平地域教育サポート・ネット事業  
（学校支援ボランティアの推進）  
実践事例集平成30年度版**

平成31年3月発行

編集 小平市教育委員会教育部地域学習支援課  
〒187-8701 東京都小平市小川町2丁目1333番地

TEL 042 (346) 9834

FAX 042 (346) 9578

E-mail [chiikigakushushien@city.kodaira.lg.jp](mailto:chiikigakushushien@city.kodaira.lg.jp)